

組織部速報

2017年7月27日

No. 1

新聞投稿掲載第6号!!

7月27日、東京新聞の投稿欄「発言」に東京支部・東條委員長の
記事「なぜ災害時に自衛隊迷彩服」が掲載されました!

なぜ災害時に

自衛隊迷彩服

会社員 東條 高史 43

(東京都荒川区)

九州では熊本地震以降、豪雨などの自然災害が相次ぎ、テレビを見ていると、悲惨な映像が次々と飛び込んでくる。自衛隊が復旧・復興に貢献している姿も、映像でよく見かける。国民にとって頼もしい姿で、大いに活躍を期待している。しかし、災害の復旧に迷

彩服で作業するのはなぜだろうか? 汚れても目立たない作業着として考えればマッチした服装なのだろうが、災害時は、どこで誰が作業しているか認識しやすい服装の方が望ましい。また、救助を待つ被災者に安心感があった方がよい。自衛隊の海外派遣や集団的自衛権など、自衛隊をめぐる論争は続いている。迷彩服の復旧作業で、自衛隊が正義の味方に見えるように、慣らされてしまっているのかもしれない。

2017年7月27日 東京新聞朝刊「発言」より

新聞投稿にチャレンジしよう!! 自分の考えを投稿してみよう!!